

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ゆめわかば		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年11月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが通所を待ち望んでくれている。 楽しく通所してくれている。	○子どもたちと真摯に向き合い関わる。 ○厳しさ・楽しさ・褒めること等、メリハリを持った関わりを行う。 ○「人と関わることが楽しい」と感じられるよう、個々のペースを見極めつつ「やりたい」の気持ちを刺激する。	○活動が固定化しないよう、活動内容の選択肢を増やす。 ○個々の把握を深め、発達状況に応じた課題を提示。 ○「もう少しでできそう…」の意欲を掻き立てる。
2	保護者と職員間で子どもの状況・活動への取り組み等を日頃から伝え合い、 目づ、相談や世間話もできるような関係性が築けている。	○お迎え・面談・ご希望の際は、時間が許す限りお話をする時間を持つ。	○保護者会やお茶会など、自由に話せる機会と場を作る。
3	身体を沢山動かし、楽しみながら運動面の強化及び知的動作の学習ができる。	○散歩・山登り▶体力・集団への意識・身体の使い方 ○集団作業療法▶模倣(見る力)・粗大動作の学習 ○個別作業療法▶知的能力の把握・巧緻動作の学習	○個々の発達能力の把握。 ○「今」必要な取り組みの洗い出し、共有。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	PDCAサイクル(目標設定と振り返り)、活動の打ち合わせ及び振り返りが十分にできていない。	○兼務や就労状況により、会議時間を確保することが難しい。	○組織体制の検討。 ○支援時間の前後、送迎時間等を利用し、「会議」という形だけでなく、職員で話をする機会を持つ。
2	保護者・きょうだい同士の交流の機会、 関係機関・地域との交流が少ない。	○お仕事や兄弟の用事などの事を考え、イベント等の参加が「大変」なのではないかと考えがちである。 ○外部との交流経験が少なく、知識不足。	○どのような活動を行ってみたいか…等、保護者を交えて意見交換をしていきたいと考える。 ○自立支援協議会へ、定期的に参加する。
3	非常時等の対応マニュアル、通信・SNS等での活動報告など、 情報発信が弱い。	○避難訓練の取り組み・各マニュアル等の周知が行えていなかった。 ○支援業務(直接子どもと関わることを優先し、事務業務ができていない。必要時の「お知らせ」のみで済ませてしまっている。	○口頭での取り組み周知。 ○マニュアルの配布は定期的に行う。 ○事務業務時間の捻出・確保をする。